

Weekly Report

2018~2019 年度 第 53 期会長テーマ

『未来に向けて』

例会日 毎週 木曜日
 例会場 産業文化センター
 事務局 多治見市新町 1-23-4F
 T E L 0572-25-5100
 F A X 0572-25-5101
 Email n-rc@joy.ocn.ne.jp
 H P http://tajiminishi.jimdo.com
 会 長 齋藤 明
 幹 事 加藤 健治



第 2531 例会 2018 年 11 月 15 日

11 月は R 財団月間

本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング それでこそロータリー
四つのテスト

会長挨拶

出席・スマイル報告

委員会報告

幹事報告

卓話 三菱 UFJ 銀行
本橋康友支店長様
「多治見に着任して 1 年で思うこと」

点鐘

卓話者紹介

三菱 UFJ 銀行 多治見支店長 本橋靖友様

昭和 43 年 3 月 9 日生まれ

出身地：東京都（狛江市）

主な経歴：平成 2 年 3 月 法政大学経営学部卒業

平成 2 年 4 月 株式会社三菱銀行入行

高円寺支店→麴町支店→京橋支店→

京都支社→法人業務第一部→

浅草橋支社→パイオニア（出向）→

青山通支社→法人・リテールリスク統

括部→春日町支店

平成 29 年 10 月 三菱 UFJ 銀行 多治見支店長

着信書類

・10/20 R 財団研修セミナー冊子

・中山道東濃駅伝冊子

他クラブ例会変更のお知らせ

関 RC → 11 月 16 日（金） 19：00

マーゴシネマ館「プレス 幸せの呼吸」上映会

土岐 RC → 11 月 19 日（月） 18：30

たわらや

瑞浪 RC → 11月18日(日) 点鐘9:30
16日(金)からの移動例会
松野湖清掃

先週の記録 ◆出席報告

会員数 34名 出席免除者 6名 出席義務者 28名

出席者	欠席者	出席率
29名	5名	79.31%

◆スマイル報告 投函者 18名 金額 27,000円

先週の卓話

「20のテスト」より

佐藤八郎君

「子曰く、之れを知るものは之れを好むものに如かず。之れを好むものは之れを楽しむ者に如かず」(論語) ロータリー流に言いますと、「ロータリーを知っている人は、ロータリーを好きな人にはかなわない。ロータリーを好きな人は、ロータリーを楽しむ人にはかなわない。」私は、ロータリーを静かに実行して楽しんでおられる方を一番に尊敬しております。クラブのある先輩が「ロータリーは頭で考えるより先ず体で理解せよ」と言われています。ロータリーの指導力とは、地位ではなく行動です。ロータリーの役員・理事についても同じ事が言えます。大いなる反省の下で一度、ロータリーの原点を求めてみよう。11月8日に「20のテスト」を実施しました。厳粛な雰囲気の中まじめに解答される例会場のシーンを眺め担当者として本当に嬉しく思いました。調子に乗ってあと6問やってみましょう。解答は例会の委員会報告にて。(別紙)

インターシティミーティング(IM)に参加して

田中登志男君

IMとは何のことかわかっておりませんでした。グループ単位で知識と親睦を深める企画であるということ、本日、身をもって理解させていただきました。今回のIMは、まずバロー文化ホールで水野五郎AG及び多治見リバーサイドRCの素晴らしい企画運営により、地球温暖化問題の知識を深められ、さらにとうしん学びの丘エールに場所を移して楽しく懇親を深めることができました。まず、地球温暖化に関しまして、「不都合な真実2 放置された地球」の映画上演で、米国のアルゴア元副大統領による地球温暖化に対する熱烈な対策行動を拝見し、また、「気候難民」という事実を知らされ、今年

の日本の異常気象と相まって、インパクトある気付きをいただきました。さらに、杉山範子名古屋大学大学院特任准教授によるご講演、「気候変動の真実に向き合う」では、先生自ら「映画の中で、ジョージタウンの市長さんが地球温暖化の抑止は科学ではなく常識があればできるという言葉に衝撃を受けました。皆さんは、地球温暖化の防止は常識になっていますか?」とお言葉を発せられ、本日の主題を明確にお教えいただきました。「今年の夏の異常気象でわかりますよね。多治見の気温の上昇は、調べましたところ、最低気温も上昇していますが、最高気温の方がより上昇しているという他の都市とは違う特徴があります。」とのことでした。炭素については、「92億トン-49億トン=43億トン」の式が示され、毎年92億トンの炭素を人類が排出し、植物等が空気中の炭素を49億トン固定化して、差し引き43億トンも炭素が増えているとのこと、92億トンを半減させる目標をパリ協定で設定したとのこと。科学的にはCO₂の総排出量と気温上昇は比例していることが立証されております。このような状況でスピードをあげて低炭素社会にしていくことについて、一人一人が自分のできることをするのが重要であるとの示唆をいただきましたが、私も車はエコカーを長く乗り続け、自宅のエネルギーも最近ソーラーに電池を接続して自給自足を目指し炭酸ガス排出を少なくしようとしています。懇親会では、木村ガバナー、市長にご挨拶をいただき、続いて多治見少年少女合唱団の力強い歌声に始まり、食事会で懇親を深めました。有意義な半日を過ごさせていただきました。

